

1 精密検査依頼書兼結果報告書【胃がん検診】説明書

※当報告書が区市町村に返送された際などに御利用ください。

※「地域保健・健康増進事業報告」:「健増報告」と表記します。
 ※「胃がん検診精密検査結果報告書(東京都統一様式)」と「地域保健・健康増進事業報告集計表」との対照表:「対照表」と表記します。

① ○○○○○○控 ○/○

●●区 胃がん検診 精密検査依頼書 兼 結果報告書

胃がん精密検査依頼書

医療機関長様
御担当医様

返送先〒 住所: TEL: **★返送先2か以上の場合、追記可です。**

年 月 日

◆区市町村名を記入してください。

下記の方**●●区**胃がん検診の結果、要精密検査となりましたので、御高診の上、宜しく御指導をお願い申し上げます。

氏名・性別	検診日	年 月 日
生年月日	検診機関名	
項目名 変更 個人識別 情報	検診方法	<input type="checkbox"/> エックス線検査 <input type="checkbox"/> 内視鏡検査 検診時生検 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

◆記入内容にあわせて項目名を変更してください。

★住所・住民番号等の記入欄として使用できます。

精密検査結果(貴院記入用) 精密検査結果について御記入の上、御返送くださいますようお願いいたします。

※精密検査結果の**区市町村**及び**区市町村**から委託を受けた検診機関への提供は、個人情報保護法の例外事項として認められております(医療機関等のためのガイドライン(個人情報保護委員会・厚生労働省)において個人情報は提供されています)。

◆各自治体名に変更可です。

※御記入いただいた内容は、**区市町村**が「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)に計上し、**国及び都**の地域保健施策のための基礎資料となります。

精密検査	<input type="checkbox"/> 上部消化管内視鏡検査 <input type="checkbox"/> 生検 <input type="checkbox"/> 上記以外(検査法:)
診断区分	① <input type="checkbox"/> 異常なし・胃部以外の疾患(食道がん、十二指腸がん等) ② <input type="checkbox"/> 胃がん、 <input type="checkbox"/> 粘膜内、 <input type="checkbox"/> 粘膜下層、 <input type="checkbox"/> 進行がん ③ <input type="checkbox"/> 胃がんの疑いのある者又は未確定 ④ <input type="checkbox"/> 胃がん以外の胃部の疾患(転移性の胃がんを含む) ⑤ <input type="checkbox"/> 胃がん以外の胃部の疾患(転移性の胃がんを含む)
精密検査時の偶発症 該当する場合のみ	※入院治療を要するものとする(例:前投薬起因性ショック、消化管出血、輸血や手術を要する程度、消化管穿孔、腹膜炎等)。 ⑦ <input checked="" type="checkbox"/> あり ⇒ 内容(<input type="checkbox"/> 穿孔 <input type="checkbox"/> 出血 <input type="checkbox"/> その他())

精密検査実施日 年 月 日 TEL

精密検査実施医療機関名

精密検査担当医師名

◆胃がん検診(胃内視鏡検査)において当様式を使用する対象者について
 検診時の胃内視鏡検査画像を読影委員会がダブルチェックした結果、「要再検査」(要精検)とされた者について使用してください。

○健増報告項目(胃内視鏡検査):「検診時生検受診のうち要再検査者数」(対照表項目⑦)
 読影委員会でのダブルチェックにおいて要再検査となった者が該当します。
 ⇒⑦(□あり)にチェックがある者の数を計上してください。

○健増報告項目(胃内視鏡検査):「検診時生検未受診のうち要再検査者数」(対照表項目④)
 胃がん検診の胃内視鏡検査時に生検を受診しなかったが、読影委員会でのダブルチェックで要再検査となった者が該当します。
 ⇒④(□なし)にチェックがある者の数を計上してください。

◆胃がん検診における適切な精密検査方法
 [胃部エックス線検査での精密検査方法] 胃内視鏡検査
 [胃内視鏡検査での精密検査(再検査)方法] 生検または胃内視鏡検査の再検査
 とされています(「胃がん検診のためのチェックリスト(検診実施機関用)」1.受診者への説明(2)より)

◆胃がん検診における不適切な精密検査方法
 ・健増報告作成要領(令和2年度分)では、精密検査として不適切な方法は「ペプシノゲン検査、ヘリコバクター・ピロリ検査等」とされています。
 ・そのため、適切な精密検査方法にチェックがなく、「上記以外(ABC検査)」等と記入されている場合、「精密検査未受診」として取り扱うこととなります。

○健増報告項目:「異常なし」(対照表項目①)
 健増報告での「異常なし」には、胃部に異常が認められなかった場合に加えて「胃部には病変がない悪性腫瘍(例:十二指腸がん、食道がん、肝臓がん)」も含まれます。

○健増報告項目:「胃がん以外の疾患であった者(転移性の胃がんを含む)」(対照表項目⑥)
 胃がん以外の胃部の腫瘍(カルチノイド、リンパ腫、GIST(消化管間質腫瘍))等や胃部の病変(良性上皮性腫瘍(腺腫)、ポリープ、潰瘍、胃炎等)が該当します。